

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ①地域の自然や産業に学び、人々とのふれ合いや体験活動などを通して、ふるさとさらべつを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる活動。
 - 農園活動
農業に従事するPTAの協力をいただき、学校農園で、地域の主産業である農作物の栽培を学年毎に行った。児童が育てた野菜は、秋に収穫し各学年で試食した。
 - JA 更別青年部との交流
JA 更別青年部の協力をいただき、5年生が大豆の栽培に取り組んだ。5月に種まきを行い、9月に枝豆を収穫して試食した。10月に大豆の収穫を行い、1月に豆腐ときな粉を作り試食した。
 - ふれあい郵便
異世代間での交流を目的に、村内在住の80歳以上のお年寄りの方々を対象に、全児童で手紙を書いた。
 - 村民参観日
全更別村民の方を対象にした村民参観日を実施した。この日は、保護者はもとより、地域に住んでおられる方、また、村外に住んでおられる児童の祖父母の方も来てくださった。
 - 幼・保・小・中・高の連携
村内の幼稚園児・保育園児と1年生の交流を行った。幼稚園児や保育園児を招いて本の読み聞かせ会に参加したり、勉強したりした。中学生の職場体験の受け入れや、更別農業高校の生徒と一緒に学校花壇の花植えを行った。
 - 本の読み聞かせ
地域の読み聞かせボランティアグループ「おはなしを楽しむ会おひさま」の皆さんが、月に1回休み時間に来校し、児童に本の読み聞かせをしてくださった。この活動は、平成16年10月から始まっている。
 - 全校縦割り活動
1年生から6年生までの全校児童を8つのグループに分けた活動を行った。校舎外清掃、ゲーム等、高学年が中心となって勤労生産的な活動や集会等の活動を実施した。
 - 児童会活動
児童会の活動として、玄関前で行うあいさつ運動やあいさつキャンペーン、児童が行う本の読み聞かせ会、ゲーム集会等子ども同士が触れ合う取り組みが多数行われた。
- ②本校における教科や総合的な学習の時間など様々な活動（人権・平和・環境・福祉・産業・伝統・情報・文化・地域貢献）の継続と充実を通して「持続可能な社会」「郷土の未来」を担う子ども達を育てていく。
 - 特別養護老人ホーム「コムニの里」訪問
4年生が7月と2月にコムニの里を訪問し、老人の方と交流した。
 - 更別村総合文化祭「芸能発表会」参加
3年生が11月に行われた更別村の芸能発表会に参加し、地域の方に音楽の発表を行った。

○いじめをなくそう宣言

「学校いじめ防止基本方針」を作成し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。本校では児童会が中心となり、平成19年に「いじめをなくそう宣言」を制定している。全校朝会の時には、児童会役員の進行で全児童が朗読している。

○緑の募金・赤い羽根共同募金・リサイクル活動

児童会代表委員会が中心となって、「緑の募金」や「赤い羽根共同募金」の取り組みをした。集まった募金は、村の植樹祭に使う苗木の購入に使われたり、村の福祉に役立てられたりしている。また、全校の取り組みとして、牛乳パックのリサイクルやゴミの分別、節電に積極的に取り組んでいる。

○エネルギーについて考えよう

12月、3年生が総合的な学習の時間にグループごとにエネルギーについて調べ参観日に発表した。本校はソーラーパネルが設置されており、発電のしくみや発電量などについて詳しく調べて発表するグループもあった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）